

119

明石市立養護学校建設敷地地質調査

報 告 書

昭和 56 年 6 月

山本鑿泉水道株式会社

2. 調 査 の 内 容

1. 調査名称 : 明石市立養護学校建設敷地地質調査

1. 調査場所 :

1. 調査内容 : 土質調査ボーリング

調査深度 GL-14.00 m ~ 28.00 m 計 10ヶ所

現位置試験

JIS.A.1219.に基づく標準貫入試験

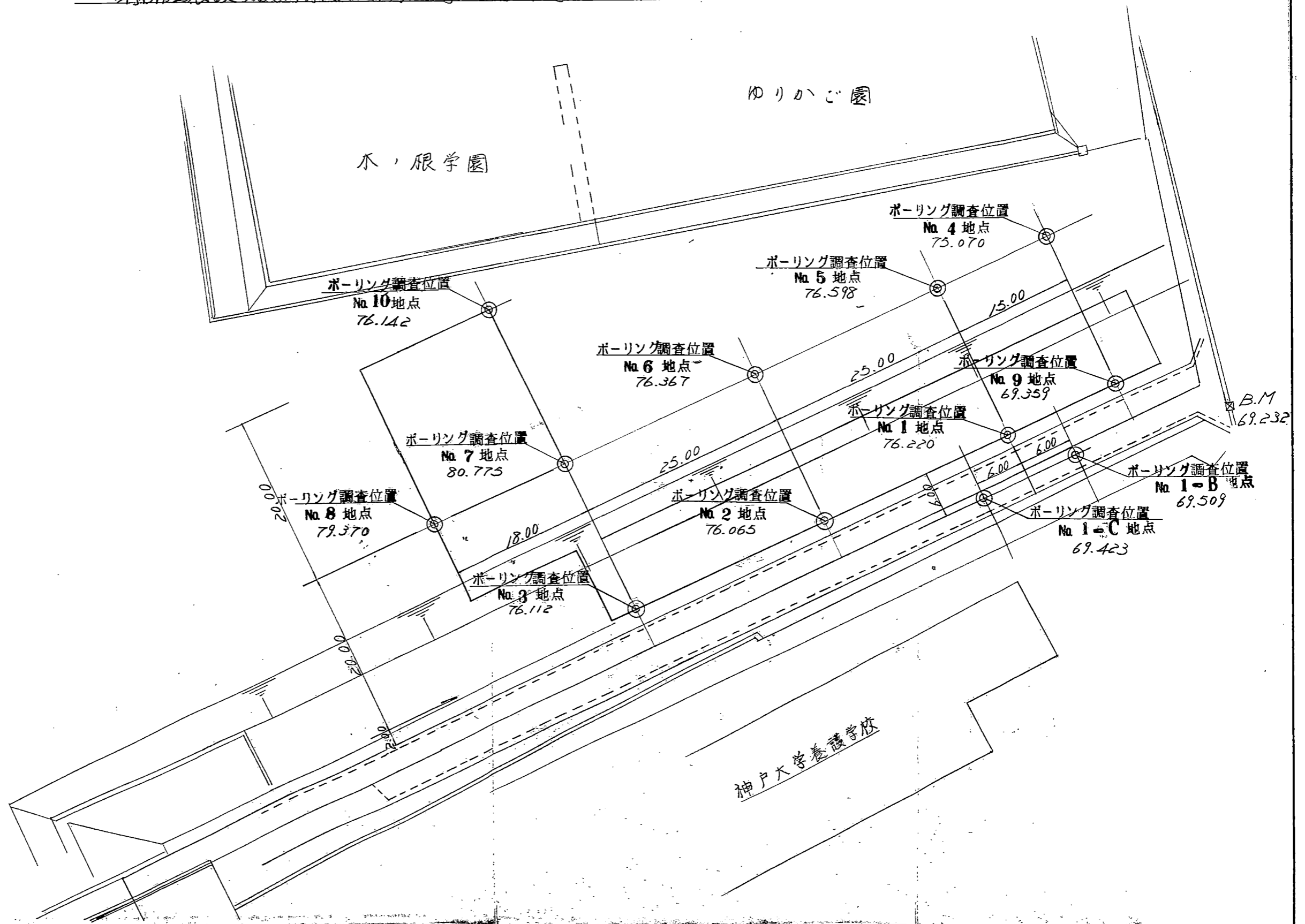
試験深度 1.00 m 毎

1. 調査期間 : 昭和56年4月17日~5月25日

1. 設計監理 : 株式会社小野建築設計事務所

1. 調 査 : 山本鑿泉水道株式会社

明石市立養護学校新築敷地地質調査位置図 S: 1/500



地質柱状図 (No. 1)

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア一試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20
45
50
3.70

3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50は回収比 (50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

調査地点

No. 1 地点 BM + 6.988

調査(着手) 昭和 56 年 4 月 17 日

(竣工) 昭和 56 年 4 月 23 日

孔内水位

GL - 3.900 m

工事担当者

奥田 弘高

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験					試料 採取 方法	試料 採取 深度 m				
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N値			
										10	20	30	40	50						
1	74.620	1.60	1.60		茶 褐	粘土混り 砂	粘土分全体に混入多し。 最大φ10mm程度の砂分混入。 含水量全体に中位。	締り		0.45	12	3	4	5						
2	73.320	2.90	1.30		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分混入多し。 最大φ5mm程度の細粒砂分 7層物少量混入。含水量少	締り		2.10	15	3	5	7						
3	72.220	4.00	1.10		暗黄 茶	粘土混り 砂	粘土分混入多し。 最大φ20mm程度の砂分混入。 最大φ10mm前後の砂分混入。 含水量中位。	締り		3.45	19	6	6	7						
4	71.420	4.80	0.80		暗黄 茶	粘土混り 砂	粘土分混入多し。 最大φ20mm程度の砂分混入。 最大φ10mm前後の砂分混入。 含水量中位。	締り		4.45	23	7	8	8						
5	70.320	5.90	1.10		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分混入多し。 最大φ20mm程度の砂分混入。 最大φ10mm前後の砂分混入。 含水量中位。	締り		5.45	27	7	9	11						
6	69.120	7.10	1.20		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分混入多し。 最大φ20mm程度の砂分混入。 最大φ10mm前後の砂分混入。 含水量中位。	締り		6.45	25	7	8	10						
7	68.320	7.90	0.80		暗黄 茶	粘土混り 砂	粘土分混入多し。 最大φ20mm程度の砂分混入。 最大φ10mm前後の砂分混入。 含水量中位。	締り		7.45	29	8	9	12						
8							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		8.45	16	6	5	5						
9							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		9.45	22	7	7	8						
10	65.720	10.50	2.60		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		10.45	20	5	7	8						
11							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		11.45	26	7	8	11						
12							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		12.45	43	12	14	17						
13							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		13.45	43	11	15	17						
14							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		14.45	40	11	12	17						
15							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		15.45	34	10	12	12						
16	60.420	15.80	5.30		暗黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		16.45	19	6	6	7						
17	58.720	17.50	1.70		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		17.45	11	4	3	4						
18	57.620	18.60	1.10		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		18.45	14	4	5	5						
19							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		19.45	21	6	7	8						
20							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		20.45	29	8	9	12						
21							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		21.45	31	9	10	12						
22							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		22.45	24	6	7	11						
23							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		23.45	25	6	7	12						
24							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		24.45	25	6	8	11						
25	51.120	25.10	6.50		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		25.45	22	7	7	8						
26							粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	非常 に 締 り		26.45	21	6	7	8						
27	49.320	26.70	1.60		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		27.45	26	8	9	9						
28	47.720	28.50	1.80		黄 茶	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入。 最大φ10mm程度の砂分混入。 最大φ5mm程度の砂分混入。 含水量全体に少中位。	締り		28.45	27	8	9	10						
29																				

3.900 m
(36 尺 水位)

地質柱状図 (No. 2)

調査地点 No. 2 地点 BM + 6.833

調査(着手) 昭和 56 年 4 月 17 日

(竣工) 昭和 56 年 4 月 18 日

孔内水位 GL - 3.800 m

工事担当者 西村 満

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20
45
50
3.70

3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50は回収比 (50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 對 密 度	相 對 稠 度	標準貫入試験			N 値					採取 方法	採取 深度 m		
										深度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打撃回 数	10 cm	20 cm	30 cm	10	20			30	40
	75.665	0.40	0.40		暗茶褐色	表土	粘土分混入少			2.45	10	2	3	5							
1					黄茶	粘土混り	粘土分全体に混入多 φ30%程度以下の分主		締り	1.45	21	6	7	8							
2					暗黄茶	粘土混り	最大φ100mm前後の玉混入 含水量全体に中位			2.45	14	5	4	5							
3	73.365	2.70	2.30		暗黄茶	粘土混り	粘土分混入多、粘着性 粗砂不均一な粗砂主、水中		締り	3.45	12	5	4	3							
4	72.465	3.60	0.90		淡黄茶	粘土混り	粘土分少量混入 粗砂均一な細砂主、水中			4.45	33	7	11	15							
5	71.765	4.30	0.70		黄茶	粘土混り	粘土分全体に混入多		硬	5.45	45	12	15	18							
6					黄茶	粘土混り	φ30%程度以下の分 主		非常に 硬	6.45	50	13	13	19	18						
7					黄茶	粘土混り	GL-6.60m附近にて 粘土分より多量に混入し 極少量のシルト分混入		硬	7.45	34	9	11	14							
8					淡黄茶	粘土混り	含水量全体に中位			8.45	48	12	17	19							
9	66.465	9.60	5.30		黄茶	粘土混り	含水量全体に中位			9.45	34	11	13	10							
10	65.665	10.40	0.80		黄茶	砂質粘土	微細粒砂均等に混入 粘着性弱く含水量中位		非常 に硬	10.45	27	5	10	12							
11					黄茶	粘土混り	粘土分全体に混入多		硬	11.45	48	12	15	21							
12					黄茶	粘土混り	φ10~30%程度以下の分 主		非常 に硬	12.45	50	13	18	18							
13					黄茶	粘土混り	最大φ50~70mm前後の 大粒混入			13.45	50	21	20	25	5						
14					黄茶	粘土混り	含水量全体に中位			14.45	50	13	14	19							
15					黄茶	粘土混り	含水量全体に中位			15.45	50	16	20	18							
16	59.965	16.10	5.70		黄茶	粘土混り	粘土分全体に混入多 粗砂不均一な細砂主 含水量全体に中位		締り	16.45	24	11	7	6							
17	58.665	17.40	1.30		黄茶	粘土混り	粘土分混入多、少量の シルト分混入、含水量 粗砂不均一な中粒砂主		締り	17.45	29	8	10	11							
18	57.565	18.50	1.10		淡黄茶	粘土混り	粘土分全体に混入多 φ5~15%程度以下の分 主		締り	18.45	27	9	8	10							
19					淡黄茶	粘土混り	含水量全体に中位			19.45	47	13	15	19							
20	55.565	20.50	2.00		淡黄茶	粘土混り	含水量全体に中位			20.45	29	8	9	12							

明石市立養護学校建設敷地 地質柱状図 (No. 3)

調査地点 No. 3地点 BM + 6.880

調査(着手) 昭和 56年 4月 20日

(竣工) 昭和 56年 4月 22日

孔内水位 GL - 3.900 m

工事担当者 西村 満

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20
45
50
3.70

3.20-3.70は試料採取深度(m)
45/50は回収比(50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 對 密 度	相 對 稠 度	標準貫入試験			N値					採取 方法	採取 深度 m					
										深度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打撃 回数	10 cm	20 cm	30 cm	10	20			30	40	50		
	75.812	0.30	0.30		黄	表土	粘土分混入弱粘泥質砂			0.15	10	2	3	5										
1							粘土分全体に混入多 φ20~25mm程度以下の 塊状主体	締り		1.15	18	6	6	6										
2					暗黄	粘土混り 砂	含水量全体に中位			2.15	13	5	4	4										
3	72.712	3.40	3.10		黄	粘土	粘着性弱 含水量中位	中	硬	3.15	15	5	6	4										
4					黄	粘土	粘着性弱 含水量中位			4.15	8	2	3	3										
5	71.412	4.70	1.30				粘土分全体に混入多 φ25~30mm程度以下の 塊状主体	硬		5.15	31	9	10	12										
6							最大φ70mm前後の大塊 存在。塊状角状 含水量全体に中位			6.15	32	8	11	13										
7	68.512	7.60	0.90		黄	粘土混り 砂	粘土分少量混入。塊状均一			7.15	35	10	13	12										
8	68.012	8.10	0.50		黄	粘土混り 砂	粘土分混入多 φ30mm程度以下の塊状 含水量中位	締り		8.15	26	7	8	11										
9	66.812	9.30	1.20		黄	粘土混り 砂	粘土分少量混入 塊状均一。細粒砂主体	締り		9.15	24	11	7	6										
10	66.112	10.00	0.70		黄	粘土混り 砂	粘土分全体に混入多 φ20~30mm程度以下の 塊状主体	非常 に硬		10.15	50	16	14	18	16									
11					黄	粘土混り 砂	上部GL-10.0m附近 にて円化塊状混入			11.15	48	14	17	17										
12					黄	粘土混り 砂	最大φ50mm前後の 大塊存在 含水量全体に中位			12.15	50	18	13	17	20									
13					黄	粘土混り 砂	上部GL-10.0m附近 にて円化塊状混入			13.15	50	16	12	21	16									
14					黄	粘土混り 砂	最大φ50mm前後の 大塊存在 含水量全体に中位			14.15	50	16	15	22	14									
15	60.702	13.41	3.41		黄	粘土混り 砂	含水量全体に中位			15.15	50	16	17	19	16									

調査地点 No. 4 地点 B17 + 5.838

調査(着手) 昭和 56 年 4 月 23 日

(竣工) 昭和 56 年 4 月 25 日

孔内水位 GL - 8.700 m

工事担当者 奥田弘昌

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度 (m) 45/50は回収比 (50cm:貫入深さ) (45cm:試料長さ)
45	
50	
3.70	

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度	標準貫入試験				N値	採取方法	採取深度 m
										深度 m	N値 回/cm	10cm毎の 打撃回数				
										10	20	30	40	50		
1	74.470	0.60	0.60		茶	粘表土	粘土分混入多、 φ20mm程度以上の砂	ゆるい		0.75	8	2	3	3		
2	73.170	1.90	1.30		黄	粘土混り 細砂	粘土分少量混入、 砂子均一な細粒砂分 含水量少ない。	締る		1.15	11	3	4	4		
3					茶	粘灰	粘土分全体に混入多。	締る		2.15	23	6	8	9		
4					茶	粘灰	粘土分全体に混入多。	締る		3.15	20	6	7	7		
5					茶	粘灰	GL-3.10~3.60m附近 に7粘土分多。	締る		4.15	33	11	11	11		
6					茶	粘灰		締る		5.15	32	8	10	14		
7					暗	粘灰	φ30~50mm程度以上の 砂分主体に粗粒 状の砂分多。	締る		6.15	28	9	9	10		
8					黄	粘灰	粘土分全体に風化多、 部分的に硬質の 粘土分存在。	締る		7.15	29	8	9	12		
9								締る		8.15	26	8	9	9		
10								締る		9.15	29	9	9	11		
11								締る		10.15	31	9	10	12		
12								締る		11.15	51	12	15	23		
13					淡黄系	粘土混り 砂		締る		12.15	48	13	15	19		
14	61.270	13.80	11.90		淡黄	粘土混り 砂		締る		13.15	38	12	14	12		
15					淡黄	粘土混り 砂	粘土分全体に少量混入 砂子上部均一な下部に 粘土分多。	締る		14.15	28	9	9	10		
16	59.170	15.90	2.10		黄	粘土混り 細砂	砂子均一な細粒砂分 下部に粘土分存在、含水量	締る		15.15	23	7	7	9		
17							粘土分全体に多量混入、 φ15~20mm程度以上の 砂分主体。	締る		16.15	34	11	10	13		
18	57.270	17.80	1.90		淡黄青	粘土混り 砂	粘土分全体に中量混入。	締る		17.15	40	11	13	15		
19							粘土分全体に混入多 上部に少量のシルト分 多。	締る		18.15	21	6	7	8		
20	54.570	20.50	2.70		淡黄	粘土混り 細砂	砂子均一な細粒砂分 含水量全体に中量 上部に粘土分多。	締る		19.15	26	8	8	10		
21										20.15	29	9	9	11		
22																
23																
24																
25																

明石市立養護学校建設敷地 地質柱状図 (No. 5)

調査地点 No.5 地点 BM + 7.366

調査(着手) 昭和 56 年 4 月 22 日

(竣工) 昭和 56 年 4 月 25 日

孔内水位 GL - 7.700 M

工事担当者 西村昌弘

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20
45
50
3.70

3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50は回収比 (50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 對 密 度	相 對 稠 度	標準貫入試験					試料 採取 方法	試料 採取 深度 m	
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値
										10	20	30	40	50			
1	76.398	0.20	0.20		暗黄茶褐	表土	粘土混り砂の表土			2.15	10	3	3	4			
2	74.998	1.60	1.40		暗茶褐	粘土混り砂	粘土分全体に混入多し。粒径10~35%程度主体。含水量全体に少な。	締り		2.15	13	3	5	5			
3	73.798	2.80	1.20		暗黄茶	粘土混り細砂	粘土分混入多し。粒子径10~5%細粒砂主体。含水量中位。	締り		2.15	10	3	3	4			
4					黄茶		粘土分全体に混入多し。粒子径10~5%細粒砂主体。粘着性有し。フ植物少量混入。含水量全体に中位。	ゆるい		3.15	9	2	3	4			
5	71.698	4.90	2.10		黄茶褐	粘土質砂		締り		4.15	13	3	4	6			
6					暗黄茶		粘土分全体に多し混入	締り		5.15	26	8	9	9			
7					黄茶		φ15~25%程度下の粘土主体。	ゆるい		6.15	31	9	11	11			
8	68.998	7.60	2.70		黄茶	粘土混り砂	最大φ60%前後の粘土存在。含水量全体に中位。	締り		7.15	15	5	4	6			
9	67.898	8.70	1.10		黄茶	粘土混り細砂	粘土分混入多し。粒子径10~5%細粒砂主体。含水量少な。	ゆるい		8.15	33	9	12	14			
10	66.698	9.90	1.20		黄茶	粘土混り砂	粘土分混入多し。φ10~20%程度下の粘土主体。	締り		9.15	17	5	6	6			
11	65.498	11.10	1.20		黄茶	粘土質粘土	φ10~15%程度下の粘土混入。微細砂不均等に多し混入。粘着性有し含水量中位。	非常なゆるい		10.15	17	5	5	7			
12							粘土分全体に混入多し。	ゆるい		11.15	25	7	8	10			
13					黄茶		φ20~35%程度下の粘土主体。	ゆるい		12.15	37	10	11	16			
14					黄茶		最大φ50%前後の粘土存在。	非常なゆるい		13.15	41	13	11	17			
15					黄茶		含水量全体に少な。	ゆるい		14.15	50			12			
16	60.698	15.90	4.80		黄灰	粘土混り砂		締り		15.15	26	16	22	16			
17					淡黄灰	粘土混り細砂	粘土分全体に多し混入し少量のシルト分混入。粒子径10~5%細粒砂主体。含水量上部中位下部中位。	締り		16.15	20	5	7	8			
18	59.098	17.50	1.60		淡黄茶	粘土混り細砂		ゆるい		17.15	28	7	9	12			
19					淡黄茶	粘土質粗砂	粘土分混入非常に多し。粒子径10~5%粗粒砂主体。小粒少量混入。含水量中位。	非常なゆるい		18.15	50			23			
20	57.498	19.10	1.60		淡黄灰	粘土混り細砂	粘土分全体に混入多し少量のシルト分混入。粒子径10~5%細粒砂主体。含水量上部中位下部中位。	締り		19.15	20	9	6	5			
21	56.098	20.70	1.60		淡黄灰	粘土混り細砂		ゆるい		20.15	28	7	9	12			

件名

明石市立養護学校建設敷地

地質柱状図 (No. 6)

調査地点 No. 6 地点 BM + 7.135

調査(着手) 昭和 56 年 4 月 24 日

(竣工) 昭和 56 年 4 月 27 日

孔内水位 GL - 4.000 m

工事担当者 西村 満

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20
45
50
3.70

3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50は回収比 (50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験					試料 採取 方法	試料 採取 深度 m
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数				
										10	20	30	40	50		
1					暗茶褐		粘土分全体に混入多 φ30mm程度までの塊 分主体	ゆるい	締る	2.45	6	1	2	3		
2	72.867	2.50	2.50		茶	粘土混り 砂	粘土φ70mm前後の塊状 存在 含水量全体に少ない			2.15	14	4	5	5		
3	72.767	3.60	1.10		黄茶	砂質粘土	粘土均一な微細粒砂 混入多 粘着性弱く含水中位		硬い	3.25	24	6	8	10		
4					淡黄茶		粘土分全体に混入多 粘土均一な細粒砂主 ノ植物少量混入 粘着性弱く含水中位	ゆるい	締る	4.15	9	3	3	3		
5	70.667	5.70	2.10		黄茶	粘土質 細砂				5.05	13	3	4	6		
6							粘土分全体に混入多 φ30mm程度までの塊 分主体	非常に 硬	締る	6.15	50			20		
7										6.45	27	10	20	17		50/27
8										7.15	26	9	8	9		
9							GL-8.50~9.20m附近 でレンズ状に粘土分 混入			8.15	49	13	17	19		
10					黄茶					9.15	33	11	9	13		
11							含水量全体に少ない			10.15	35	10	11	14		
12	64.567	11.80	6.10		淡黄茶	粘土混り 砂		非常に 硬		11.15	50			18		50/18
13	64.067	12.30	0.50		淡黄茶	砂質粘土	粘土不均一、粘着弱く含水中位			12.15	50			24		50/24
14							粘土分全体に混入多 φ30mm程度までの塊 分主体	非常に 硬		12.45	29	7	19	19		50/19
15										13.15	50			13		50/13
16					黄茶	粘土混り 砂	含水量全体に少ない			13.45	23	15	21	15		50/23
17										14.15	50			6		50/6
18										14.37	22	18	26	6		50/22
19										15.15	50			23		50/23
20										15.33	18	27	18			50/18

地質柱状図 (No. 7)

調査地点 No. 7 地点 BM + 11.543

調査(着手) 昭和 56 年 5 月 18 日

(竣工) 昭和 56 年 5 月 20 日

孔内水位 GL - 3.500 m 工事担当者 奥田 弘 高

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20	45	50	3.70
3.20			
3.20			
3.20			

3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50は回収比 (50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標準貫入試験					試料 採取 方法	試料 採取 深度 m	
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値
										10	20	30	40	50			
1							粘土分全体に多量混入	極		2	1	1					
2					暗黄系褐		φ20~30mm程度までの 粘土分全体を占める	極		3	1	1	1				
3								締		5	2	2	1				
4							最大φ60mm前後の大 粘土分全体に少量混入 するがGL-5.00m~5.50m 附近にて多量混入	極		19	5	6	8				
5								締		8	2	3	3				
6					暗黄系灰		GL-7.50m附近にて 細粒砂分を多量混入	締		30	9	10	11				
7								締		26	8	8	10				
8	72.775	8.00	8.00		暗系褐	粘土混り 砂	含水量全体に中位			27	9	10	8				
9	72.075	8.70	0.70		系褐	粘 土	φ2mm程度までの小粘土分 混入。粘着性及び含水量高	中		5	2	1	2				
10					黄系		全体に粘着性弱	強		9	2	3	4				
11	70.075	10.70	2.00		黄系灰	粘 土	全体に均質	中		7	2	2	3				
12					黄系褐		粘土分全体に多量混入	極		50							
13	67.875	12.90	2.20		黄系	粘 土 粗	粘土分不均一。粗粒砂分 多量混入。細粒砂分全体に多量混入	極		18	6	5	7				50 /20
14	67.075	13.70	0.80		黄系	粘 土 細	粘土分多量混入。粘土分 不均一。細粒砂分多量混入。含水量中位	締		21	6	7	8				
15								極		51							
16					暗黄系灰		粘土分全体に多量混入	極		30	17	16	18				51 /30
17								締		43	15	12	16				
18					暗黄系灰		φ20~30mm程度までの 粘土分全体を占める	締		36	9	11	16				
19							最大φ50~60mm前後の大 粘土分全体に少量混入 するがGL-16.0m~GL-18.0m 附近にて多量混入	極		50			15				
20	60.365	20.41	6.71		黄系	粘 土 砂	全体に平凡化混入	極		27	16	19	17				50 /27
21								締		50			28				50 /20
22								締		22	18	26	12				50 /22
23								締		50			12				50 /12
24								締		26	19	19	16				50 /16

件名

昭和三十九年養護学校新築敷地

地質柱状図 (No. 8)

調査地点 No. 8 地点 BM + 10.138

調査(着手) 昭和56年5月18日

(竣工) 昭和56年5月20日

孔内水位 GL - 3.000 m

工事担当者 西村 猛

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20
45
50
3.70

3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45/50は回収比 (50cm:貫入深さ)
(45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察	相對密度	相對稠度	標準貫入試験					試料 採取方法	試料 採取深度 m				
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値			
												10	20	30	40	50				
												10	20	30	40	50				
1					暗茶褐色	粘土混り砂	粘土分多量に混入。	締り		0.25	12	3	3	1						
2					暗黄茶	粘土混り砂	φ30~40程度の粘土分多量に混入。	締り		1.15	6	2	2	2						
3					暗黄茶	粘土混り砂	大粒分多量に混入。	締り		2.15	17	7	5	5						
4					暗黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。	締り		3.15	8	3	2	3						
5	72.870	5.50	5.50		黄茶	粘土混り砂	含水量全体に中位。	密		4.15	22	7	7	8						
6	72.770	6.60	1.10		黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。粒子均一な微細砂粒。含水量中位。	締り		5.15	31	9	10	12						
7	71.570	7.80	1.20		黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。φ30程度の粘土分。潤滑性の別分混入多量。含水量中位。	密		6.15	18	5	6	7						
8	71.370	9.00	1.20		黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。粒子均一な微細砂粒。粘着性弱く含水量中位。	締り		7.15	31	9	10	12						
9	69.670	9.70	0.70		黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。大粒30%程度。含水量中位。	密		8.15	24	9	7	8						
10					黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。	密		9.15	35	11	12	12						
11	67.870	11.50	1.80		黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。粒子不均一な粗砂粒。下部にて粘土分多量に混入。含水量中位。	極密		10.15	50			15				50	1/26	
12					黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。	密		11.15	26	18	17	6						
13					黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。砂のGL-12.50m付近にてより多量に混入。	密		12.15	21	6	7	8						
14					黄茶	粘土混り砂	φ30~40程度の粘土分多量に混入。	密		13.15	30	10	9	11						
15					黄茶	粘土混り砂	粘土分多量に混入。	密		14.15	41	11	14	16						
16					黄茶	粘土混り砂	大粒分多量に混入。少量。	極密		15.15	24	18	20	14					50	1/24
17					黄茶	粘土混り砂	大粒分多量に混入。少量。	極密		16.15	50			15					50	1/25
18	61.070	18.30	6.80		黄茶	粘土混り砂	大粒分多量に混入。少量。	極密		17.15	28	15	18	8					50	1/28
18	60.920	18.45	0.15		黄茶	粘土混り粗砂	含水量全体に中位。	密		18.15	51			17					51	1/30
18					黄茶	粘土混り粗砂	粘土分多量に混入。φ30程度の粘土分。	密		18.45	30	25	17	9					51	1/30

件名

明石市立養老学校新築敷地

地質柱状図 (No. 9)

調査地点 No. 9地点 BM + 0.127

調査(着手) 昭和56年5月14日

(竣工) 昭和56年5月16日

孔内水位 GL - 3.600 m 工事担当者 西村 猛

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2. 試料採取深度と回収比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m) 45/50は回収比(50cm:貫入深さ) (45cm:試料長さ)
45	
50	
3.70	

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色 調	地質 名	観 察	相 對 密 度	相 對 稠 度	標準貫入試験					試 料 採 取 方 法	試 料 採 取 深 度 m	
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数					N 値
										10	20	30	40	50			
1					黄系褐		粘土分全体に多量混入		締	0.15	16	5	5	6			
2					黄系褐		全体にφ20~30mm程度までの塊分主体		3	1.15	16	5	6	5			
3					黄系褐		最大φ50mm前後の塊分全体に混入		3	2.15	23	7	8	8			
4					黄系褐		GL-6.0m附近にて石灰化が表出		3	3.15	28	9	10	9			
5					黄系褐		含水量全体に中位		密	4.15	45	14	16	15			
6					黄系褐		含水量全体に中位		3	5.15	30	10	10	10			
7					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	6.15	40	12	13	13			
8	61.559	7.80	2.80		黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	7.15	43	12	15	16			
9					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	8.15	22	9	7	6			
10	59.459	9.90	2.10		黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	9.15	18	5	6	7			
11					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	10.15	27	8	9	10			
12	57.259	12.10	2.20		黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	11.15	31	9	10	12			
13					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	12.15	18	4	6	8			
14					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	13.15	20	5	6	9			
15					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	14.15	23	6	7	10			
16					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	15.15	15	4	5	6			
17	51.859	17.50	5.40		黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	16.15	25	9	8	8			
18					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	17.15	21	6	7	8			
19					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	18.15	28	10	9	9			
20					黄系褐	砂質粘土	含水量全体に中位		3	19.15	27	7	9	11			
21	48.759	20.60	3.10		黄系褐	砂質粘土	含水量全体に中位		3	20.15	31	8	10	13			
22					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	21.15	48	8	16	24			
23	45.659	23.70	1.90		淡黄青灰	シルト混り中砂	含水量全体に中位		3	22.15	29	13	17	19			50/29
24					黄系褐	粘土混り砂	含水量全体に中位		3	23.15	50			17			50/28
25	43.909	25.45	1.75		黄系褐	砂質粘土	含水量全体に中位		3	24.15	19	6	7	6			
					黄系褐	砂質粘土	含水量全体に中位		3	25.15	20	6	6	8			

件名

明石市 養老学校新築工 地質柱状図 (No. 1-B)

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比

調査地点 No. 1-B 地点 調査(着手) 昭和56年 5月15日
 竣工) 昭和56年 5月16日
 孔内水位 GL - 1.000 m 工事担当者 奥田 弘島

3. 20 3.20-3.70は試料
 45 採取深度 (m)
 50 45は回収比 (50cm:貫入深さ,
 3.70 50 45cm:試料長さ)

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度	標準貫入試験					採取方法	採取深度 m		
										深度 m	N 値 回	10cm 毎の打撃回数	N 値					
											0	10	20	30	40	50		
						GL - 0.00 m												
						素 礫												
						GL - 22.00 m												
22		22.00																
		22.80	0.80		淡黄灰	シルト混り粗砂	シルトが少く混入。粗砂不均一。粗粒砂が主。含水量多。		極密		22.5	53						53
23		23.40	0.60		淡黄灰	シルト混り中砂	シルトが少く混入。粗砂均一。中粒砂が主。		極密		23.5	50						50
24					淡黄灰						24.5							
					茶褐色		上部 GL-24.50 附近にて粗砂均一。微細砂が均等に混入。		硬		25.5							
26							上部にて大石植物混入。				26.5							
27											27.5							
28							上部 GL-25.0 附近より以下は粗砂均一。微細砂が少量混入。		極密		28.5							
29									硬		29.5							
30							粘着性 GL-26.50 附近には弱粘性土。以下は均等に含水量全体均等。				30.5							
		30.50	7.10		暗青灰	砂質粘土					30.5	34	9	10	15			

件名

昭和三十九年養老院新築敷地

地質柱状図 (No. 1-C)

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ⊙-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア試料
 2. 試料採取深度と回収比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度 (m)
45	45は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)
50	
3.70	

調査地点 No. 1-C 地点
 調査(着手) 昭和56年5月23日
 (竣工) 昭和56年5月25日
 孔内水位 GL - 3.900 m 工事担当者 西村 勉

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対稠度	相対密度	標準貫入試験						試料		
										深度 m	N 値	10cm毎の打撃回数					採取方法	採取深度 m
0	10	20	30	40	50													
						GL - 0.00 m												
29		29.30				GL - 29.30 m												
30							シルト全体に混入するφGL-31.50m附近にて最大粒径			50	50	3	3					50
31							粘土全体に少量混入。			50	50	3	3					50
32							φ20~30mm程度以下のシルト主体。			50	50	3	3					50
33		33.17, 33.87				シルト混り 黄系灰砂礫	最大φ200mm前後の玉石全体に混入。含水GL-31.50m以下。			50	50	2	2					50
34																		

地質柱状図 (No. 10)

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○-1 乱さない試料
 ◎-2 貫入試験機による試料
 ●-3 コア-試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3.20-3.70は試料採取深度 (m)
 45 は回収比 (50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

調査地点 No. 10 地点 BM+6.910 調査(着手) 昭和56年 5月21日
 (竣工) 昭和56年 5月22日
 孔内水位 GL - 2.500m 工事担当者 奥田弘彦

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度	標準貫入試験					試料採取方法	試料採取深度 m
										深度 m	N 値回	10cmの打撃回数	10cm	20cm		
1	74.42	1.70	1.70		黄茶	粘土混り砂礫	粘土分全体より少 混る。 φ20~30%程度以上の分主 含水量中位。	弛	中	0.75	7	2	3	2		
2					黄茶		全体は細粒砂分不均等少量混る。			0.15						
3					黄茶	灰	粘着性全体の中位より中固房にて R弱。			1.45	20	6	6	8		
4					黄茶		含水量全体の中位より中固房にて R弱。			0.25						
5	71.142	3.00	3.30		黄茶	砂混り粘土	含水量全体の中位より中固房にて R弱。			2.45	7	2	2	3		
6					暗黄茶	砂礫	粘土分全体より少 混る。	極密		0.35						
7					暗黄茶	砂礫	φ20~30%程度以上の分主	締		3.45	6	2	1	3		
8	68.242	7.90	2.90		暗黄茶	砂礫	含水量全体の中位	極密		0.45						
9	66.742	9.40	1.50		茶	細砂	粘土分全体より少 混る。 粒子均一な細粒砂分主。含水量中	密		5.15	50					
10					黄茶					5.38	23	19	18	9		50/23
11					黄茶					0.15						
12					黄茶					6.45	23	7	7	9		
13					黄茶					0.75	51					
14	61.832	11.31	1.91		黄茶	灰砂礫	含水量全体より少	極密		7.45	30	18	17	16		51/30
15					黄茶					8.15	36	10	12	14		
16					黄茶					0.95						
					黄茶					9.15	34	9	10	15		
					黄茶					0.15						
					黄茶					10.45	34	10	11	13		
					黄茶					0.15	50					
					黄茶					11.45	28	14	18	8		50/28
					黄茶					0.15	50					
					黄茶					12.15	50					
					黄茶					12.41	26	16	19	6		50/26
					黄茶					0.15	50					
					黄茶					13.35	20	20	30			50/20
					黄茶					0.15	50					
					黄茶					14.31	16	30	6			50/16